

長野県諏訪清陵高等学校附属中学校（仮称）の学校運営・教育課程編成計画について

高校教育課

1 中高一貫教育の概要(グランドデザイン)

資料1

2 6年間の学習指導計画

資料2

(1) 各教科の6年間の学習指導計画

(2) 道徳教育全体計画

(3) 総合的な学習の時間

「アカデミック・コミュニケーション」全体計画

(4) キャリア教育全体計画

3 諏訪清陵高等学校附属中学校の開校に向けた準備状況について

資料3

4 平成25年度諏訪清陵高等学校附属中学校説明会等のご案内

資料4

長野県諏訪清陵高等学校附属中学校(仮称) 中高一貫教育の概要(グランドデザイン)

校 是

自反而縮雖千萬人吾往矣 [孟子公孫丑上より]
 (みずからかえりみてなおくんば、センマンニンといえどもわれゆかむ)
 ・自分自身を反省して正しいと確信できたら、たとえ相手が千万人であっても自分は恐れずに立ち向かって行く

〒392-8548 長野県諏訪市清水1-10-1
 TEL 0266-52-0201 FAX 0266-57-2426
 URL <http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs/>
 E-mail seiryo-hs@pref.nagano.lg.jp

教育理念

人の心の痛みがわかる豊かな人間性の涵養、伸びる力を伸ばす学力の向上などにより、さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成を目指す。

教育目標

- 1 明治28年以來の伝統に培われた「高い学力」「広い視野」「強い意志」を基礎に、21世紀の社会に貢献できる優れた人材を育成する。
- 2 生活全般を通して多様な経験を積む機会を設け、豊かな人間性や公共性、社会性を育む。

学年	諏訪清陵附属中学校			諏訪清陵高等学校		
	中1	中2	中3	高1	高2	高3
区分	始める	深める		広げる	高める	
内容	6年間の基礎を固める。学習、生活習慣の確立。学ぶことの意義や方法の理解。集団づくり。すべてを始める。	清陵附属中学全面展開。深く学ぶ授業を中心とした活気ある生活。高い学力、広い視野、強い意志の養成。		内進生と外進生が切磋琢磨する中で、意識や行動を大きく広げる。高校3年間の基礎を固める。	清陵高校全面展開。自由な校風の様々な場面で自らを鍛え、仲間と共に高い志を実現する。高い学力、広い視野、強い意志の体現。	
編成	○1学年2クラス(毎年クラス替え) ○クラス単位授業 数学・英語少人数講座	○1学年2クラス ○クラス単位授業 数学・英語少人数講座	○1学年2クラス ○クラス単位授業 数学・英語少人数講座	○内進生と外進生の混合HR(3年間同一クラス) ○内進生と外進生の混合習熟度別講座のアドバンストとスタンダードを編成	○混合HR ○理系と文系で習熟度別講座のアドバンストとスタンダードを編成	○混合HR ○理系と文系で習熟度別講座のアドバンストとスタンダードを編成

※学期は、前期・後期の2学期制 ※習熟度別講座については、高1・高2では、学期ごとにも講座を組み直す。

目指す生徒像と主な教育活動

高い学力

- 将来の研究活動や社会貢献につながる重厚な教養主義による確かな知性の伸長
- 探究的な学習による深い思考力と主体的に学ぶ力の涵養

- ・じっくり学び、深く考える 65分授業
- ・豊富な授業時間 +13%
- ・Eタイム(毎日10分間の英語学習)
- ・基礎基本の深い理解と定着を図る「深める学習」
- ・「体験的・課題探究的な学習」の充実
- ・アカデミック・コミュニケーション(総合的な学習の時間)
- ・サタデイ・スパイラル・セミナー(土曜学習講座)

広い視野

- 社会の人々とのふれあいをとおした、共同意識やコミュニケーション能力の育成
- 幅広い年齢集団の交流を活用した、協調性や指導力の涵養

- ・アカデミック・コミュニケーション(地域との連携)
- ・宿泊研修
オリエンテーション合宿、イングリッシュキャンプ等
- ・サタデイ・スパイラル・セミナー(土曜地域開放講座)
- ・学校支援ボランティアの仕組の導入
- ・幅広い年齢集団の交流
中高共催の学校行事、学友会行事、部活動

強い意志

- 6年間の計画的な進路学習による将来を展望する構想力と自立心の育成
- 様々な体験活動によるやり抜く精神力・体力や責任ある行動力の涵養

- ・6年間一貫の充実したキャリア教育
憧れの先輩の職場訪問・体験
社会人講演会「リーダーに学ぶ」
大学見学(難関大、医学部)
学習合宿
- ・学校行事、学友会行事(湖周マラソン)、学友会活動
・部活動

資料2

6年間の学習指導計画

- (1) 各教科の6年間の学習指導計画
- (2) 道徳教育全体計画
- (3) 総合的な学習の時間
「アカデミック・コミュニケーション」全体計画
- (4) キャリア教育全体計画

平成26年度開校

長野県諏訪清陵高等学校附属中学校（仮称）

平成25年3月14日

6年間の学習指導計画

【国語】

1 指導の方針

I期【始める】	・あらゆる学びの基礎、生きる力の源としての国語力を養成する第一歩として、幅広い言語表現に触れ、言葉に対する感性を養う。
II期【深める】	・多くの現代文、古典を読み、「その場・その時」に選ばれた言葉が、どのような意味や効果を持つのかを考えさせながら、論理的言語能力、感受性を磨く。 ・古典に親しみ、伝統文化への理解を深める。
III期【広げる】	・本格的に古典に取り組み、自らの力で読み解くための基礎力を養成し、現代まで脈々と流れる日本文化の源流に触れる。 ・抽象的かつ複雑な内容を有する現代文を精読し、より高次の論理的思考力を養い、かつ自らと社会の関係を考える。
IV期【高める】	・古今の文章を読むことによって鍛え上げてきた言語能力を用い、自己を論理的かつ明確に表現する力を向上させる。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深める学習(例)
中1	I期【始める】 ・語句の正確な意味、用法を学ぶ。 ・さまざまな表現に触れ、暗唱等により身体化する言語体験の充実を図る。 ・自分の意見を話し、他者の意見を聞く力を養う。	学びをひらく 読書と情報 思いを伝える つながりを読む いにしえの心にふれる 論点をとらえる 表現を見つめる 学習を広げる	・辞書に親しむ ・短歌創作 ・百人一首に親しむ ・スピーチ学習
中2	II期【深める】 ・さまざまな種類の文章を読み、内容を正確に理解する能力を高める。 ・読書の幅を広げ、知的好奇心を養う。 ・伝えたい内容を正確に表現するための、言葉の選択と、論理展開を学ぶ。	広がる学びへ 視点を定めて 読書と情報 技を伝える きずなを読む いにしえの心を訪ねる 論理をとらえる 自分を見つめる	・文章の要約 ・図書の推薦文 読書感想文 ・聞き書き ・意見発表文 ・古典名文暗唱
中3	・古文、漢文の名文を読み、その表現と思想を学ぶ。	深まる学びへ 多様な視点から 読書と情報 時代を伝える 状況を読む いにしえの心と語らう 論理を捉える 未来へ向かって	・ディベート ・小論文 ・新聞記事をもとにしたスピーチ ・古文を書く
高1	III期【広げる】 ・評論文における抽象的概念を理解する。 ・古典読解の基礎(古文文法・古文単語・漢文句形・漢文語彙等)を習得する。	国語総合 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」それぞれの領域において、さらにその能力を高め、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。	
高2	IV期【高める】 ・評論や小説の中に現れた問題や論点を正確に読解し、かつ自らの問題として捉え、それに対する考えを明確に言語化する能力を養成する。	現代文 近代以降の様々な文章を読み、的確に内容を理解するとともに、自らの考えを適切に表現する能力を高める。	古典 古文、漢文を読む能力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。
高3	・基礎的読解力を土台に、古典を自らの力で読み、伝統文化の流れの上にある現在の営みを振り返るとともに、文明の行く末についても考える。		

* 中学の学習内容については、教科書(光村)によるものです。使用教科書決定後変更します。

3 附属中学校【国語】の授業の特色

I 言葉の豊かさをじっくり味わい、論理的思考力を高める 65分授業

〔展開例〕

1 正確に言葉を用いるための基礎演習 言葉で思いを伝えるスピーチ学習

- ・ 正確な語彙の習得 (例) 漢字小テスト 等
- ・ 人前で話す経験の積み重ね (例) 3分間スピーチ 等

2 作品を声に出して読み、耳から聞き、言葉を身体に染み込ませる

- ・ 言葉の意味だけを追うのではなく、言葉の音の面白さに気づくと共に、言葉が口をついて出て来るような身体化する言語体験の充実を図る。

3 作品を正確に読解する

- ・ 一文一文を丁寧に読み、作者の意図を正確に読み取る。

4 自ら課題を設定し、自分の考えをまとめ、発表する

- ・ 作品についての自分の意見を発表し、また友人の意見を聞き、自らの考えを深める。

II 言葉で人とつながる力を育てる「深める学習」

	育てたい力	主な学習内容例
中1 I期【始める】	幅広い言語表現に触れる中で養われる言葉に対する感性 他者の意見を聞き、自分の意見を話す力	○名文暗唱 ○短歌創作 ○百人一首に親しむ ○スピーチ学習
中2・3 II期【深める】	さまざまな種類の文章を正確に読解する力と、伝えたい内容を正確に表現するための論理展開力 幅広い読書によって培われる知的好奇心	○文章要約 ○図書のおすすめ文、読書感想文を書く ○聞き書き ○古典名文暗唱 ○ディベート ○新聞記事をもとにしたスピーチ
高校段階 III期【広げる】 IV期【高める】	作品に現れた問題や論点を正確に読み取り、かつ自らの問題と捉え、それに対する考えを明確に言語化し、発信する能力	○小論文 ○ディベート

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

国語好きにするために 学び方を学ぶために

- 「読書に親しむ」
言葉により自らの世界を広げる喜びを実感させる。
- 「言葉を蓄積する」
名文暗唱、百人一首暗唱等を通し、さまざまな種類の言葉に対する受容能力を高める。
- 「辞書に親しむ」
辞書を引き語彙を増やすことの楽しさを実感させる。

学習習慣を確立するために

- 年間を通した「漢字テスト」「3分間スピーチ」等を実施する。

6年間の学習指導計画

【社会(地歴・公民)】

1 指導の方針

I期【始める】	世界と日本の地理的把握・歴史的把握を行い、私たちの身近な社会から日本・世界にまで横たわる、様々な現象や課題への見方・考え方を身につける。
II期【深める】	世界の地理的把握と歴史的把握を背景に、社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義を考え、現代社会をとらえるための見方・考え方を身につける。
III期【広げる】	現代社会がどのようにして成り立っており、私たちの世界が今どのような方向へ向かっているのかを、歴史的に把握するとともに、最新の情勢を取り扱いながら考えられるようになる。
IV期【高める】	私たちを取り巻く世界とそこにある様々な課題を、より専門的な知識・技能を身につけることで、いっそう深く、多角的にとらえ直す。そして、より具体的に世界のあり方や私たち自身の生き方を模索し、実現するための力を養う。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深める学習(例)			
中1	I期【始める】 地理的分野 世界と日本の諸地域の地域的特色について学び、世界と日本の地理的な見方考え方を身につける。	世界の地域構成 世界各地の人々の生活と環境 世界の諸地域 世界のさまざまな地域の調査 日本の地域構成 世界と比べた日本の地域的特色 日本の諸地域	地図を利用し、土地利用を調べ自然と人間生活の繋がりについて調べてみる。			
	歴史的分野 世界の歴史を背景に、各時代の特色をとらえながら、日本の歴史の大きな流れを理解する。	歴史の流れ 古代までの日本 中世の日本 近世の日本 開国と近代日本の歩み 二度の世界大戦と日本① 二度の世界大戦と日本② 現代の日本と世界	諏訪地域の博物館や考古館の資料などを利用しながら、自分たちの地域と日本の歴史との繋がりを調べてみる。			
中2	II期【深める】 公民的分野 社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について考え、現代社会をとらえるための見方・考え方を身につける。	現代社会とわたしたちの生活 人間の尊重と日本国憲法 現代の民主政治と社会 わたしたちの暮らしと経済 地球社会とわたしたち	新聞記事を利用し、人権・民主主義の内容・現代の課題などを調べてみる。			
高1	III期【広げる】 現代社会 ①現代社会の諸課題 ②現代社会と人間としてのあり方と生き方 ③共に生きる社会を目指して	世界史A ①世界史へのいざない ②ユーラシアの諸文明と交流 ③むすびつく世界と日本 ④近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動 ⑤地球社会と日本				
高2	IV期【高める】	文系;世探及びA科目、B科目より1科目ずつ選択必修 理系;日本史B・地理Bから1科目選択必修				
高3	世界史B ①世界史への扉 ②諸地域世界の形成と交流 ③海洋による世界の一体化 ④地球社会形成の模索	日本史B ①歴史へのアプローチ ②原始・古代 ③中世 ④近世	地理B ①さまざまな地図と地理的技能 ②現代世界の系統地理的考察 ③現代世界の地誌的考察			
	倫理・政経	政治・経済	世界史B	日本史B	地理B	日本史探究

3 附属中学校【社会】の授業の特色

I 自ら考え、発信する力を養う 65 分授業

〔展開例〕

1 社会的事象との出会い ～関心や意欲を高める～

・年表、グラフ、写真などの資料から、「なぜ」「どうして」という疑問を見いだす。

2 個人追究から全体追究へ ～資料活用の技能や思考力・判断力を身に付ける～

・自分の考えを整理する。
・根拠を示しながらグループや全体で話し合いを行う。

3 自分の考えの記述と発表 ～表現力を伸ばし、理解を定着させる～

・話し合いを通してわかったことを、自分の言葉でまとめる。
・考えを発表し合い、理解を共有する。

II 社会に対する関心高め、理解を深化させる「深める学習」

	育てたい力	主な学習内容例
中1・2 I期【始める】	○日本や世界の地域的特質を、資料に基づいて考察し理解する力 ○日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に理解する力	○諏訪市の地域的特色を、観察や調査の結果をもとに考察し、意見交換を行う。 ○博物館の資料を活用して、身近な地域と日本や世界の歴史とのつながりについて調べる。
中3 II期【深める】	○民主政治や経済活動の基礎を、個人と社会のかかわりを中心に理解する力 ○社会の諸問題について自ら考えようとする態度	○新聞記事を活用して、政治・経済に関する制度や仕組みの意義と働きについて理解を深める。 ○調査や見学を通して、地方自治や裁判員制度について理解を深める。
高校段階 III期【広げる】 IV期【高める】	○日本や世界の歴史、生活・文化の地域的特色について深く理解する力 ○広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察する力	○日本と世界の諸地域の接触・交流について、事例を取り上げて考察し、日本と世界の歴史のつながりを理解する。 ○課題探究活動を通して、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

学び方を学ぶために

○「リサーチリテラシー*の基礎」

「読む力・書く力」、「課題を発見する力」、「情報を収集し、整理する力」について、図書館や博物館などを活用して指導する。

○「言語活動の充実」

発表の機会を設け、「プレゼンテーション力」や「聞く力」について指導する。

社会科好きにするために

○「メディアの活用」

新聞やインターネットを活用し、時事的な話題に関心が持てるよう指導する。

学習習慣を確立するために

○定期テスト以外に、単元ごとの確認テストや、都道府県庁所在地などのチェックテストを行い、学習習慣の確立と知識の定着を図る。

○地理や歴史に関するブックリストを紹介し、読書の習慣が身に付くよう指導する。

*リサーチリテラシー：研究や調査を行うために必要な基礎的・汎用的能力

1 指導の方針

I期【始める】	・学ぶことの意義や方法の理解を通して、6年間の基礎固めをする。 ・算数から1歩踏み出て、文字を使用し、抽象的・一般的な思考を行い、数学を始める。
II期【深める】	・深く考える学習を通して、高い学力・広い視野・強い意志を養う。 ・具体的な問題を解く中で数学的な抽象的思考を活用でき、数学の楽しさを実感できる。
III期【広げる】	・外進生と内進生の切磋琢磨を通して、高校の学習の基礎固めをする。 ・数学的思考や活動を広げ、次の段階の抽象化・一般化に進む。
IV期【高める】	・数学の学習を通じて、抽象化の段階を高め、自由に思考する力を養う。 ・数学的に深い問題に向かい、課題を解決する中で、数学のよさを認識できる。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深める学習(例)
中1	I期【始める】 ・文字を積極的に使うことができる。 ・論理的に思考し、表現できる。 ・幾何的なイメージを大切にする。 ・資料の傾向を読み取れる。	・正の数と負の数 ・文字と式 ・1次方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 ・空間図形 ・資料の整理とその活用	*絶対値記号 * 整数の問題 ・式の計算 * 絶対値場合分け * $ax=b$ を場合分けで解く ・1次関数 * 式の代入と合成関数 ・証明とは * 合同と相似 ・正多面体 * 四分位数、四分位範囲、箱ひげ図
中2	II期【深める】 ・文字について、変数や未知数だけでなく、パラメータの使用を始める。 ・図形の問題以外でも、グラフや抽象的な概念図などが使え、幾何的なイメージを大切に直観的な見方ができる。 ・様々な証明を通じて、命題の逆の意味の理解や論理的正しさの感覚を養う。 ・確率や統計の考え方を理解する。度数分布から確率分布の考え方に自然に移行できる。	・式の計算 ・連立方程式 ・1次関数 ・図形の性質と合同 ・三角形と四角形 ・確率	・展開と因数分解 * 整数の問題 * 積み上げた球(格子点)の個数 * 連立3元一次方程式 * 絶対値付き関数のグラフ * 数列 $f(n)=a_n$ * 不等式 * 1次不等式 * 背理法による証明 ・直角三角形の合同と三平方の定理 ・平方根と無理数 * 2次方程式 ・2次関数 * 積の法則と階乗記号 * 順列組み合わせ
中3		・式の計算 ・平方根 ・2次方程式 ・関数 $y=ax^2$ ・相似 ・円 ・三平方の定理 ・標本調査	* 多項式の割り算と分数式 * 循環小数の性質 * 整数の問題 * 放物線と直線の交点 * 式の代入(合成関数)とグラフの平行移動 * 2次不等式 * チェバ・メネラウス・方べきの定理 * 直角三角形の相似と鋭角の三角比 * 必要条件・十分条件 * 三角形の五心 * 三角比の相互関係 * 分散、標準偏差、確率分布
高1	III期【広げる】 ・グラフの平行移動に関する場合分け等、パラメータを積極的に扱える。 ・様々な場面で、概念図など、抽象的な幾何的思考ができる。	数学I ・数と式 ・集合と論証 ・2次関数 ・図形と計量 ・データの分析	数学A ・場合の数と確率 ・整数の性質 ・図形の性質 ・発展的良問による課題学習 ・合同式
高2	IV期【高める】 ・パラメータ消去等、様々なパラメータの扱いができる。 ・指数法則、対数の計算規則、微分積分の公式等が数学的に自然なものとして扱えるように、抽象的な思考の段階を高める。	数学II ・方程式・式と証明 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数・対数関数 ・微分と積分	数学B ・数列 ・ベクトル ・確率分布と統計的な推測 ・発展的良問による課題学習 ・区分求積法
高3	・これまで身につけた数学的思考を具体的な問題を解くことに活用できる。	数学III(理系) ・平面上の曲線 ・複素数平面 ・関数と極限 ・微分法 ・積分法	・発展的良問による課題学習 ・入試問題等による演習(文系・理系) ・微分方程式(理系)

(注) 深める学習(例) * 印は高校の学習内容

3 附属中学校【数学】の授業の特色

I 抽象的思考とそれを活用する場面を同時に経験する 65分授業

- 〔展開例〕
- 1 家庭学習を授業に活かす 宿題の答え合わせをする。担当の生徒が板書し口頭で説明する。
 - 2 新しい概念を理解し課題に取り組む 本日扱う内容を板書して授業の目的意識を図り、新しい概念について説明する。課題を印刷したプリントを配り各自が取り組む。
 - 3 取り組みを発表し意見を述べ合うなかで課題の意味を認識する 途中から班に分かれ、各自の考えを述べながら解答をまとめる。3つくらいの班を選び、班別に黒板で発表する。先生は発表毎に解答のポイントを別の黒板にまとめてそれぞれの解答の特徴をはっきりさせる。生徒は質問や意見を出し最後に最も良い解答を選び、場合によっては第4の解答をつくる。
 - 4 授業を家庭学習につなげる 関連する課題あるいは発展的な課題を宿題とし、次回黒板に板書する生徒を3名程度指名する。

II 抽象的思考力とそれを活用する力を育む「深める学習」

	育てたい力	主な学習内容例
中1 I期【始める】	具体的な問題を解決する中で、文字を用いた、抽象的な思考ができる。その際、幾何的なイメージを大切にできる。	○絶対値記号を関数として扱い、グラフで表す。 パラメータを変えることによりそのグラフがどう変化するかみる。 ○方程式 $ax=b$ を場合分けで解く。
中2・3 II期【深める】	変数や未知数だけでなく、パラメータも扱える。幾何的なイメージも、抽象的な概念図が扱える。様々な証明を通じて命題の正しさの感覚を育み、命題の意味の理解を深める。	○2次関数を扱う際、パラメータを変えることによりそのグラフがどう変化するかみる。 ○数値の代入だけでなく式の代入(合成)を行い、パラメータ消去との関係を見る。 ○証明の際その命題の逆を意識し、もとの命題との違いや論理的な正しさの感覚を育む。 ○図のかきにくい問題であっても抽象的な概念図(図式)がかけ、幾何的な思考が抽象的思考を助けることを経験する。
高校段階 III期【広げる】 IV期【高める】	パラメータの扱い等、第2段階の抽象的思考を、具体的な問題を解決する中で、全面的に展開できる。	○様々なパラメータの扱いができる。 ○一つ一つの問題を解く中で、必要性、十分性を常に意識した論理展開ができる。 ○指数法則、対数の計算規則、微分積分の公式等が数学的に「自然な」ものとして扱えるように、抽象的な思考の段階を高める。

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

学び方を学ぶために

○日常の場面を抽象化する数学的思考とともに、そこから出発して、次の段階の抽象的思考へも進む。この第2段階の抽象的思考は高校の数学で全面展開されるものであるが、中学から高校へのギャップが生じないように、中学段階から準備を始める。具体的には例えば、パラメータ付きの関数や方程式のグループをひとまとまりのものとして扱いながら場合分けして調べる方法等である。抽象的思考の段階を高めるほど、今まで解けなかった具体的問題がそれによって解けるようになることを経験させる。

数学好きにするために

○日常生活にもつながる良い課題(発展的で思考力発想力を育む問題)に取り組む中で、数学的抽象的思考を活用してその課題(問題)を解決することにより、数学の楽しさとよさを実感させる。

学習習慣を確立するために

○授業で扱う課題(問題)とは別に、家庭学習用の良い課題を定期的に用意する。

6年間の学習指導計画

【理科】

1 指導の方針

I期【始める】	身のまわりの生物、物質、現象に興味関心を持たせ、観察、実験、視聴覚教材の利用を通して科学的に探究する能力の基礎と態度を育て、6年間理科を学ぶ基礎を固めさせる。
II期【深める】	深く学ぶ授業を通して、自然の事物の成り立ちや現象についての基本的な仕組み・規則性・多様性の理解を深めさせる。その過程で広い視野と科学的な見方・考え方を育てる。
III期【広げる】	中学校理科と高等学校理科の関連を図りつつ、自然の事物・現象に対する探究心と理解をさらに高め、外進生と切磋琢磨しながら目的意識をもって取り組む態度を養う。
IV期【高める】	文理講座やSSH講座を活用して、高い志を実現できるよう取り組ませる。また科学的に探究する能力と態度を育成し、事物や現象を分析して自らの考えを発表できる能力を育てる。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深める学習(例)		
中1	I期【始める】 自然の事物・現象に進んでかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。	1 身近な生物の観察 2 植物の世界 3 身のまわりの物質 4 身のまわりの現象 5 大地の変化	顕微鏡の使用法 レポートの書き方 花、葉、茎、根のつくりとはたらき 気体、水溶液の性質 物質の状態変化 光、音、力の世界 火をふき、動き続ける大地		
中2	II期【深める】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	1 化学変化と原子・分子 2 動物の生活と生物の変遷 3 電気の世界 4 天気とその変化	物質のなり立ち 化学変化 化学変化と物質の質量 生物と細胞 動物のからだのつくりとはたらき 進化 電流の性質 電流と磁界 静電気と電流 気象観測 大気の動きと天気		
中3		1 化学変化とイオン 2 生命の連続性 3 運動とエネルギー 4 地球と宇宙 5 科学技術と人間 6 自然と人間 7 地球と私たちの未来のために	イオン 電池 酸、アルカリ 生殖 遺伝の法則と遺伝子 運動 力 エネルギーと仕事 宇宙 天体の動き 月と惑星 いろいろなエネルギー 生態系 環境の保全と開発 持続可能な社会を目指して		
高1	III期【広げる】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行う。	生物基礎【必修】 ①生物と遺伝子 ②生物の体内環境の維持 ③生物の多様性と生態系	物理基礎【必修】 ①物体の運動とエネルギー ②様々な物理現象とエネルギーの利用		
高2	IV期【高める】 科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。	化学基礎 【理系必修】 ①化学と人間生活 ②物質の構成 ③物質の変化 地学基礎 【文系必修】 ①宇宙における地球 ②変動する地球	生物 【選択】 ①生命現象と物質 ②生殖と発生 ③生物の環境応答 ④生態と環境 ⑤生物の進化と系統	物理 【選択】 ①様々な運動 ②波 ③電子と磁気 ④原子	化学 【選択】 ①物質の状態と平衡 ②物質の変化と平衡 ③無機物質の性質と利用 ④有機物質の性質と利用 ⑤高分子化合物の性質と利用
高3					

3 附属中学校【理科】の授業の特色

I 自然を感じ、問題を見だし、実験・観察を通して科学的に探究する 65 分授業

〔展開例〕

1 問題を見だし、予想を立てる

- ・提示された未知の事物・現象に五感を通して触れる。驚き、疑問から学習問題を見いだす。
- ・その問題に対する予想とその根拠を一人ひとり考え、話し合いを通して班としての予想を考える。

2 見通しや目的意識を明確にした実験・観察を通して問題を追究する

- ・予想を確かめる方法を考え、実験・観察を行う。実験経過や途中で気付いたことも記録する。

3 実験・観察の結果を仲間と話し合いをしながらまとめる

- ・結果を絵、図表、グラフに表して、話し合いをしながら一人ひとりや班としての考えをまとめる。

4 明らかになったことを発表して話し合いをする

- ・自分や班の考えを絵、図表、グラフなどを用いつつ科学的言葉や概念を使って発表し、クラス全体で話合って問題に対する予想と結果を検討し、正確な知識や技能を習得する。

II 科学的な見方、考え方そして表現力を育む「深める学習」

	育てたい力	主な学習内容例
中1 I期【始める】	自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。	○身近な生物の観察 ○身のまわりの物質 ○身のまわりの現象 ○大地の変化
中2・3 II期【深める】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養い、科学的な言葉や概念を使用して考えを表現することや、学習内容を日常生活の事物・現象と結び付けて考える態度を育てる。	○化学変化と原子・分子 化学変化とイオン ○動物の生活と生物の変遷 生命の連続性 ○電子顕微鏡観察を体験する。 ○電気の世界 運動とエネルギー ○天気とその変化 地球と宇宙 ○科学技術と人間 自然と人間 ○地球と私たちの未来のために
高校段階 III期【広げる】 IV期【高める】	自然の事物・現象に対して高い探究心と科学的な能力と態度をもって観察、実験を行う。これらの取組みによって、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。	○生物・物理基礎は全員必修、化学基礎は理系必修、地学基礎は文系必修。それぞれの領域の基礎的な現象を観察・実験を通して学ぶ。 ○2年次以降は生物・物理・化学を選択し、自然の事物・現象について詳しく学ぶ。電子顕微鏡観察、遺伝子組換え実験など体験する。

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

学び方を学ぶために

- 自然の事物・現象から問題を見出す経験をする（いろいろな事物・現象に出会わせる）。
- 実験・観察の方法を学ぶ（実験観察の進め方、顕微鏡の使い方、安全に実験を行うための心掛け）。
- まとめと発表の方法を学ぶ（実験観察結果の図表へのまとめ方、レポートの書き方、発表の仕方）。

理科好きにするために

- 既存の見方や考え方と食い違う事物・現象と出会わせ、五感を通してそれらに触れ合わせる。
- 驚きや疑問から生徒自らが問題を見出し、事物・現象の仕組みを追究したくなるようにする。

学習習慣を確立するために

- 学習したことを日常生活と結び付けて、学んだことが実社会・実生活の中で成り立っていることに気付かせ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるようにする。
- 適宜課題を用意して、学習内容を授業中の演習や家庭での復習を通して定着できるようにする。

1 指導の方針

I 期【始める】	<p><音楽>音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽への興味・関心を養い、音楽を愛好する心情を育てる。</p> <p><美術>楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度・技能を育てる。</p> <p><書写>毛筆の正しい使い方を学び、文字の形を整えて書く能力を身に付ける。</p>
II 期【深める】	<p><音楽>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽に対する感性を豊かにし、音楽の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。</p> <p><美術>主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度・技能を深める。</p> <p><書写>文字を整えて書くことに加え、速く書く能力を開拓する。さらに文字文化に対する知識関心を深める。</p>
III 期【広げる】	<p><音楽>音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。</p> <p><美術>美術の幅広い創造活動を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を広げる。</p> <p><書道>主に毛筆を用いて多彩な表現能力を養い、美に対する感性を向上させる。</p>
IV 期【高める】	<p><音楽>音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。</p> <p><美術>美術の創造的な諸活動を通して、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を高める。</p> <p><書道>文化における文字、書道の存在価値を認識し、その伝道者たる素養を身に付ける。</p>

2 指導計画

	学習目標	学習内容			深める学習(例)
		音楽	美術	書写・書道	
中1	<p>I 期【始める】</p> <p><音楽>音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。</p> <p><美術>豊かに発想し構想する能力や表現の技能を身に付け、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。</p> <p><書写>文字を正しく書く習慣と能力はあまねく学習活動全般に好影響を及ぼす。用筆法をはじめ基礎段階から確実な書字活動を定着させる。</p>	<p>A表現 歌唱 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫する。「赤とんぼ」「荒城の月」等</p> <p>器楽 楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身につける。アルトリコーダー「ラパース・コンチェルト」等</p> <p>鑑賞 鑑賞の活動を通し、音楽を形づくる要素や構造と曲想とのかわりを感じとり、言葉で説明することで音楽の良さを味わう。「魔王」等</p>	<p>A表現 絵画(自然を描く)</p> <p>彫刻(粘土でつくる)</p> <p>デザイン・工芸(木材工芸)</p> <p>B鑑賞 日本及び諸外国の生徒作品の鑑賞</p>	<p>書く姿勢と正しい執筆法</p> <p>楷書◇基本点画の書き方</p> <p>◇字形の整え方</p> <p>章法(紙へのおさめ方)の基礎</p> <p>仮名の書き方</p>	<p><音楽> 自分が持っている歌声をみつげよう</p> <p><美術>スケッチによる見て描く学習</p> <p><書写>ひらがな字母の学習</p>
中2	<p>II 期【深める】</p> <p><音楽>多様な音楽表現の豊かさや楽しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。また多様な音楽のよさや楽しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。</p> <p><美術>心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p>	<p>歌唱 歌詞の内容や曲想を味わい、曲に相応しい表現を工夫して歌う。「早春譜」、長唄「勸進帳」等</p> <p>創作 言葉や音階の特徴を生かし、簡単な旋律をつくる</p> <p>器楽 基礎的な奏法を生かして曲想に相応しい表現の工夫。箏「さくらさくら」</p> <p>鑑賞 我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽から音楽の多様性を理解して鑑賞する。歌舞伎「勸進帳」等</p>	<p>A表現 絵画(想像で描く)</p> <p>彫刻・工芸(金属でつくる)</p> <p>デザイン(ポスター制作)</p> <p>B鑑賞 アジアの文化遺産</p>	<p>行書◇基本的な筆づかい</p> <p>◇点画を連続して書く</p> <p>◇点画の省略と筆順の変化</p> <p>漢字と仮名の調和</p> <p>硬筆</p>	<p><音楽>速度や強弱の表現を生かして、多彩な表現を工夫しよう。</p> <p><美術>写真・ビデオ・コンピュータ等映像メディアの活用、日本と諸外国の表現形式</p> <p><書写>楷書・行書以外の書体</p>
中3	<p>III 期【広げる】</p> <p><音楽>音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。</p> <p><美術>感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。</p> <p><書道>書写から書道への脱皮。筆を用いた創作的表現をめざし、それを可能にさせる技能と審美眼を養う。</p>	<p>歌唱 声部の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現の工夫。合唱曲「大地讃頌」等</p> <p>創作 言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくる。</p> <p>器楽 声部の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かし演奏をする。リコーダー合奏「木星」等</p> <p>鑑賞 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解し鑑賞する。交響曲第9番「新世界より」等</p>	<p>A表現 絵画(版画制作)</p> <p>彫刻(様々な素材でつくる)</p> <p>デザイン(色彩を学ぶ)</p> <p>B鑑賞 美術館・博物館の活用</p>	<p>文化と歴史における文字</p> <p>生活のなかの筆写文字</p> <p>展示を前提とした作品を書く</p>	<p><音楽> 曲のしぐみに注目して名曲を楽しもう。</p> <p><美術>漫画・イラストレーションによる表現</p> <p><書写>古今の名筆に触れる</p>
高1	<p>IV 期【高める】</p> <p><音楽>音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。</p> <p><美術>美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p>	<p>歌唱 曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌う。Caro mio ben 等</p> <p>創作 音楽材の特徴を生かし、反復・変化、対象などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくる。</p> <p>器楽 様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫する。ギター「メヌエット」等</p> <p>鑑賞 声や楽器の音色と表現上の効果とのかわりを感じ取って鑑賞する。管弦楽のための三つの交響的素描「海」等</p>	<p>A表現 (1)絵画(鉛筆・絵具を使って)</p> <p>(2)デザイン(線と面による表現)</p> <p>(3)映像メディア表現(写真を使って)</p> <p>B鑑賞 日本と諸外国の美術と歴史</p>	<p>用筆法の開拓</p> <p>唐の四大家の鑑賞と臨書</p> <p>楷書による創作</p> <p>蘭亭序の鑑賞と臨書</p> <p>行書による創作</p> <p>篆刻</p>	<p><音楽>音楽を形づくっている要素やはたらき、効果を調べてみよう。</p> <p><美術>スケッチによる観察学習、鑑賞と批評活動</p> <p><書道>篆書による創作</p>
高2	<p>IV 期【高める】</p> <p><音楽>音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。</p> <p><美術>美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p>	<p>歌唱 曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌う。Caro mio ben 等</p> <p>創作 音楽材の特徴を生かし、反復・変化、対象などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくる。</p> <p>器楽 様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫する。ギター「メヌエット」等</p> <p>鑑賞 伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を生かし鑑賞する。「オペラ」と「歌舞伎」等</p>	<p>A表現 (1)絵画・彫刻(様々な素材を使って)</p> <p>(2)デザイン(分割法による表現)</p> <p>(3)映像メディア表現(コンピュータを使って)</p> <p>B鑑賞 時代、民族、風土、宗教と表現</p>	<p>隷書の基礎</p> <p>隷書名品の臨書</p> <p>隷書による創作</p> <p>草書名品の臨書</p> <p>草書による創作</p> <p>五体すべてによる同一語句創作</p> <p>平安古筆から仮名を学ぶ</p>	<p><音楽>弾き語り挑戦しよう</p> <p><美術>絵画・彫刻の一体的表現 デッサンによる描写学習</p>
高3	<p>IV 期【高める】</p> <p><音楽>音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。</p> <p><美術>美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p>	<p>歌唱 楽曲の表現内容を総合的に理解し表現意図をもって創造的に歌う。「Morgen」等</p> <p>創作 様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくる。</p> <p>器楽 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に表現する。「G線上のアリア」等</p> <p>鑑賞 現代の我が国及諸外国の音楽の特徴を理解し鑑賞する。「20世紀の作曲家と伝統音楽の結びつき」等</p>	<p>A表現 (1)絵画・彫刻(表現に応じた素材を使って)</p> <p>(2)デザイン(ポスター)</p> <p>(3)映像メディア表現(ビデオを使って)</p> <p>B鑑賞 国際理解と文化遺産としての美術</p>	<p>仮名による創作</p> <p>漢字仮名交じりの書</p> <p>三次元的表現(木彫など)</p> <p>全紙を用いた大字創作</p> <p>実用書、写経など</p>	<p><書道>近現代の名品鑑賞</p>

3 附属中学校【芸術（音楽・美術・書写（書道））の授業の特色

I 豊かな人間性と芸術への愛好心を育む芸術の授業

音楽	美術	書写（書道）
<p>〔展開例〕</p> <p>1 豊かな発声表現を追究 脱力し良く響く発声技法を追究する。</p> <p>2 支え合い音を軸とした音取り 各パートで協調しながら正確な音程、リズムで音取りをする。</p> <p>3 理想的な演奏表現の追究 異なるパートで構成された小人数のチームを作り、音色や曲想表現を追究する中で効果的な表現を追究し合う。</p> <p>4 まとめ 発表しあう中で、良さを見つけ、グループの表現に生かす。</p>	<p>〔展開例〕</p> <p>1 アイディア生成 アイディアを形にするための思考マップ・スケッチを作成する。</p> <p>2 道具と素材を自分のものに 道具と素材の特徴をとらえ、アイディアを具体化していく。</p> <p>3 鑑賞とまとめ 他者の作品の良さを見つけ、自分の作品に生かす。</p>	<p>〔展開例〕</p> <p>1 毛筆を使いこなす 非日常的アイテムを自家菜籠中のものとするをめぐす。</p> <p>2 正しい字形を学ぶ 文字結構法を体系的に学習する。</p> <p>3 「美」を追究する 書写の本分である「正しく、整えて」から芸術的領域へ一歩踏み込んでみる。</p>

II 技能と感性を高める「深める学習」

	育てたい力	主な学習内容例
中1 I期 【始める】	<p>〔音楽〕 伸びやかな発声で歌い、歌う楽しさを味わえるようにする。</p> <p>〔美術〕 自然を観察し、とらえる力を養う。</p> <p>〔書写〕 まずは毛筆を思いどおりに使いこなせるようになりたい。</p>	<p>○基本的な発声や奏法、また記譜法を学ぶ。</p> <p>○身の回りのものをクロッキーやデッサンで描写または模刻することで観察力を養う。</p> <p>○用筆法の基本を身につけ、結構法（文字の形）と章法（紙へのおさめ方）の基礎を学ぶ。</p>
中2・3 II期 【深める】	<p>〔音楽〕 仲間と共に作り上げる喜びを味わえるようにする。</p> <p>〔美術〕 様々な素材との対話から養われる造形力を養う。</p> <p>〔書写〕 文字文化への造詣を深め、書字スキルの向上をめざす。</p>	<p>○合唱、合奏における表現の追究、簡単な作曲を学ぶ。</p> <p>○様々な素材と出会い、道具を使いこなし、造形力を磨いていく。</p> <p>○誰にでも宿す美しい文字への欲求を、書写領域の範囲内で喚起させる。</p>
高校段階 III期 【広げる】 IV期 【高める】	<p>〔音楽〕 より高度な表現活動の追究</p> <p>〔美術〕 創造力と文化を構想する力</p> <p>〔書道〕 「美」「表現」「個性」といった芸術的ワードが則ち目標。</p>	<p>○より専門的な声楽作品や器楽作品を表現したり、高度な作曲技法を習得する。</p> <p>○スタンダードな表現形式を学び、さらにオリジナリティを発揮できるようにする。</p> <p>○自己と他者の心を、主に毛筆を用いた「書く」という行為によって動かし、見つめる。</p>

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

〔音楽〕 個に応じた伸びやかな発声法の習得、楽器演奏における基本的な運指、奏法、発音を習得させる。基本的なソルフェージュ能力（読譜力、記譜力）を育成する。様々な楽曲を鑑賞しイメージを言語化し互いに共有しあうことを通じより深い鑑賞力を養う。

〔美術〕 自由に手を動かし、造形感覚を解放する（モダンテクニック、クロッキー）。ものを観察し、形態観察力をつける（デッサン、模刻）。素材に触れ合い、造形力をつける（紙、木、鉄など）。アイディアを形にする方法を学び、創造力をつける（思考マップ、アイディアスケッチ）。

〔書写〕 毛筆は、正しい書写活動を続けるための媒体にすぎず、このスキルを高めることそのものが目的ではない。とはいうものの、現代では非日常的といえるこの特殊なアイテムを苦手意識なく使えるようになることはとても大事。高校の専門教員が生徒個々の能力に応じて丁寧に指導する。

1 指導の方針

I期【始める】	《体育分野》 運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育成し、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
II期【深める】	《保健分野》 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
IV期【高める】	《体育分野》 運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
III期【広げる】	《保健分野》 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 指導計画

	学習目標	体育分野	保健分野
中1	I期【始める】 いろいろな種目の運動を学習するなかで、運動の楽しさ・喜びを経験し、達成感や成就感が味わえるようにする。	体づくり運動と体カテスト 器械運動(マット運動) 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・走り幅跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ) 球技(バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) ダンス(リズム・創作ダンス) 体育理論	心身の機能の発達と心の健康 ・身体機能の発達 ・生殖にかかわる機能の成熟 ・精神機能の発達と自己形成 ・欲求やストレスへの対処と心の健康
中2	II期【深める】 運動の特性を知り、積極的に仲間と関わり協力して練習やゲームを工夫するなかで、運動の楽しさや喜びを味わうことが出来るようにする。	体づくり運動と体カテスト 器械運動(マット運動・鉄棒・跳び箱) 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・走り幅跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ) 球技(バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) ダンス(リズム・創作ダンス) 体育理論	健康と環境 ・身体对环境に対する適応能力・範囲 ・飲料水や空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理 傷害の防止 ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 ・交通事故などによる傷害の防止 ・自然災害による傷害の防止 ・応急手当
中3		体づくり運動と体カテスト 器械運動(マット運動・鉄棒・跳び箱) 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・ハードル走) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ) 球技(バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) ダンス(リズム・創作ダンス) 体育理論	健康な生活と疾病の予防 ・健康の成り立ちと疾病の発生要因 ・生活行動、生活習慣と健康 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・感染症の予防 ・保健、医療機関や医薬品の有効利用 ・個人の健康を守る社会の取り組み
高1	III期【広げる】 運動や健康・安全を理解し、合理的な実践を通して運動技能を高め、自主的・積極的に取り組むことができるようにする。	体づくり運動と体カテスト 陸上競技(短距離走・長距離走・投てき・走り高跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ) 球技(バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) 体育理論	現代社会と健康 ・健康の考え方 ・健康の保持増進と疾病の予防 ・精神的健康 ・交通安全 ・応急手当
高2	IV期【高める】 運動技能の向上を目指し、公正・協力・責任などの態度や、生涯にわたり継続的に運動を楽しめる態度を身につける。	体づくり運動と体カテスト 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・走り幅跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ・メドレー) 球技(バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 武道(柔道) 体育理論	生涯を通じる健康 ・生涯の各段階における健康 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ・様々な保健活動や対策 社会生活と健康 ・環境と健康
高3		体づくり運動と体カテスト 陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・走り幅跳び) 水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ・メドレー) 球技(バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン) 体育理論	・環境と食品の健康 ・労働と健康

3 附属中学校【保健体育】の授業の特色

I 活動時間が充実する 65 分授業

〔体育分野展開例〕

1 本時のねらいを明らかにし、場の準備や準備運動を行う

◇内容と手順を決め、主体的に進められるようにしていく。

◇基礎的・基本的な技能を選び出し、楽しみながら反復して取り組めるようにする。

2 課題解決の見通しを持つ

◇目指す動きのイメージや技術的なポイントを理解し共有する。(全体・グループ)

3 問題解決に向けた練習・ゲームを行う

◇試したり挑戦したりできる練習やゲームの時間を十分に確保する。

4 課題や追究方法を見返し、動きの高まりを自覚できるようにする

◇「動きのよさや改善点」「理解の深まりや動きの高まり」「学び方のよさ」を共有する。

II 運動の楽しさや喜びを味わう保健体育の学習

	育てたい力	主な学習内容例
中1 I期【始める】	いろいろな種目の運動を学習する中で、運動の楽しさ・喜びを経験し、達成感や成就感が味わえるようにする。	○体づくり運動と体力テスト ○器械運動(マット運動)、陸上競技 ○水泳、球技、武道(柔道)、ダンス ○体育理論 ○ストレスへの対処と心の健康
中2・3 II期【深める】	運動の特性を知り、積極的に仲間と関わり協力して練習やゲームを工夫する中で運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。	○体づくり運動と体力テスト ○器械運動(マット運動・鉄棒・跳び箱)、陸上競技 ○水泳、球技、武道(柔道)、ダンス ○体育理論 ○傷害の防止
高校段階 III期【広げる】 IV期【高める】	運動や健康・安全を理解し運動技能を高め、自主的・積極的に取り組む。運動技能の向上を目指し、公正・協力・責任などの態度を養い、継続的に運動を楽しめる態度を身につける。	○体づくり運動と体力テスト ○器械運動(マット運動・鉄棒・跳び箱)、陸上競技 ○水泳、球技、武道(柔道)、ダンス ○体育理論 ○精神の健康

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

学び方を学ぶために

○65分の授業展開の仕方を学び、自主的に活動ができるようにする。

○各種目の特性を十分理解し、興味・関心を持ち意欲的に取り組む態度を身に付けさせる。

保健体育好きにするために

○自分の能力に応じた目標や課題を定め、合理的な練習方法によって達成感を味わえるようにする。

個人種目は記録や技術の向上を目指し、「越えた」「伸びた」「できた」などの達成感を持たせる。

団体種目は運動の特性を知り、積極的に仲間と関わり協力して練習やゲームを工夫する中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。

学習習慣を確立するために

○体調管理に留意し、継続的に運動に参加できるようにする。

○運動の実践を通して体力の向上を図り、積極的・意欲的に参加ができる態度を養う。

6年間の学習指導計画

【技術・家庭】

1 指導の方針

I期【始める】	《技術分野》ものづくりなどの実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させる。 《家庭分野》自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて関心を持ち、考える態度を育てる。
II期【深める】	《技術分野》問題解決的な学習及び、家庭・地域社会との連携を通して、生徒が学習した知識及び技術を生活に活用できるようにする。 《家庭分野》自分や家族の衣生活・消費生活に関心を持ち、課題をもって生活について工夫し、計画を立てて実践できるようにする。
III期【広げる】	《家庭分野》人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
IV期【高める】	

2 指導計画

	学習目標	技術分野	家庭分野
中1	I期【始める】 《技術》材料と加工、情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解する。 《家庭》衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解する。	材料と加工法 製作品の設計・製作(例:マルチラック) 材料と加工の技術の評価・活用 コンピュータと情報通信ネットワークの活用 リサイクル・使用者の安全 情報モラル・知的財産の保護 個人情報の保護	家庭と家族関係 こどもの生活と家族・家庭 中学生の食生活と栄養 ホームプロジェクト(課題学習) 食生活点検 日常食の調理 乳児とのふれあい体験活動 乳幼児のおもちゃの製作
中2	II期【深める】 《技術》生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術を適切に評価し活用する能力と態度を身につける。 《家庭》衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な知識及び技術を習得するとともに、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を身につける。	生物を育てる技術の特徴 生物を育てるための計画と管理(例:トマト) 生物を育てる技術の評価・活用 エネルギーの変換・利用と保守点検 製作品の設計・製作(例:ロボット) エネルギー変換技術の評価・活用	衣服の選択と手入れ 家庭生活と消費・環境 ホームプロジェクト(課題学習)
中3	III期【広げる】 《情報》「情報」を正しく理解し、情報や情報機器・ソフトを正しく扱える能力を身につける。 《家庭》人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解するとともに、生活に必要な知識と技術を習得し、主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を身につける。	デジタル作品の設計・制作(例:Webサイト) プログラムによる計測・制御(例:ロボット) 情報技術の評価・活用 環境負荷の軽減・安全への配慮 省エネルギー・使用者の安全	地域の食文化 生活の課題と実践 ホームプロジェクト(課題学習)
高1	IV期【高める】 《情報》「情報」を正しく理解し、情報や情報機器・ソフトを正しく扱える能力を身につける。 《家庭》栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技術を習得し、食事を総合的にデザインする能力と態度を身につける。	情報 情報社会について メディアについて 個人情報とその保護 Webページ、メールの仕組みと利用 ネットワーク、インターネットの仕組みと利用 情報の安全対策 知的財産権、産業財産権、著作権 ワープロソフト、表計算ソフトの利用	家庭基礎 ①青年期の自立と家族・家庭 ②衣生活の管理と健康 ③食生活の管理と健康 ④消費行動と環境 ⑤乳幼児の発達と保育・福祉 ⑥高齢者の生活と福祉
高2		情報 デジタル情報の特徴 数値、文字の表し方 音声、色、画像のデジタル化 問題解決の方法 情報の収集、整理、管理と分析 表とグラフの活用 プレゼンテーションの方法	
高3			フードデザイン(選択) ①食生活と健康 ②栄養素のはたらきと食事計画 ③食品の特徴・安全 ④調理の基本 ⑤料理様式と献立

3 附属中学校【技術・家庭】の授業の特色

I 自らの課題を解決するための実践が充実する技術・家庭の授業

技術	家庭
<p>〔展開例〕</p> <p>1 問題発見 問題に気付く。自分の願いを明確にする。</p> <p>2 計画 自分なりの解決の見通しをもち、計画（方法や手段）を立てる。</p> <p>3 実行（ものづくり・情報・生物育成） 計画に基づき、追究する。（計画の修正）</p> <p>4 評価・反省 → 次の問題へ 願いに照らして計画や実行を振り返り、次に生かす。</p>	<p>〔展開例〕</p> <p>1 課題を把握する活動 自分の生活を振り返り、問題点を理解する。</p> <p>2 実習・実験・体験活動 調理実習・被服製作・保育園実習等</p> <p>3 理解したことを発表 プレゼンテーション</p> <p>4 まとめ 記録用紙等へのまとめ・自己評価</p>

II 自分の生活を工夫し創造する力を育む「深める学習」

	育てたい力	主な学習内容例
中1 I期【始める】	<p>〔技術〕材料と加工、情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術と、技術と社会や環境とのかかわりについての理解</p> <p>〔家庭〕自分の生活に関心を持ち、問題を解決しようとする姿勢</p>	<p>○材料と加工：製作品の設計・製作とともに、倫理観（リサイクル、使用者の安全）を育成</p> <p>○情報（中2・3でも学習）：マルチメディアの利用・プログラムの作成とともに、情報モラルについて指導</p> <p>○食生活：自分の食生活を見直す、調理技術の基礎を学ぶ学習</p> <p>○ホームプロジェクト（課題学習）</p>
中2・3 II期【深める】	<p>〔技術〕生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術と、技術を適切に評価し活用する能力と態度</p> <p>〔家庭〕学習課題を設定し、追究できる力</p>	<p>○生物育成：作物の栽培とともに、倫理観（環境負荷の軽減、安全への配慮）を育成</p> <p>○エネルギー変換：製作品の設計・製作とともに、倫理観（省エネルギー、安全）を育成</p> <p>○家庭生活と環境：環境に配慮した生活の工夫を考え、調理実習で実践</p> <p>○ホームプロジェクト（課題学習）</p>
高校段階	〔家庭〕自ら生活を創造する知識・技術と実践的な態度	○食分野：食生活の変化や問題点を理解し改善策を考える学習

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

〔技術〕

学び方を学ぶために

○問題解決的な学習（生徒自身が問題を見つけ、解決方法を考え、実践する学習）を充実させる。

技術科好きにするために

○仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、ものづくりなど実践的・体験的な学習活動を通じた追究の場を保障する。

〔家庭〕

学び方を学ぶために

○実習・製作の方法（ミシンの使い方、野菜の切り方など）を習得させる。

家庭科好きにするために

○製作の楽しさや喜びを味わう場を充実させる。

○グループ学習を通じ、お互いを理解する場を充実させる。

6年間の学習指導計画

【英語】

1 指導の方針

I 期 【始める】	英語の文字や音声に慣れ、英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢を涵養する。
II 期 【深める】	様々な題材を通して英語で理解し、考え、表現する力を育成する。
III 期 【広げる】	中学校での学習事項を質的・量的に発展させる。豊かな語彙と正確な文法知識を身につけさせる。
IV 期 【高める】	自主的な学習習慣を身につけ、自ら調べ、積極的に表現する力を育成する。

2 指導計画

	学習目標	学習内容	深める学習(例)
中1	<p>I 期 【始める】</p> <p>英語の音声やリズムに慣れる。日常生活について平易な英語で表現できる。</p> <p>他教科と協同し未知なるものに積極的・主体的に取り組む機会を多く設ける。</p>	<p>あいさつ・身の回りの物の名称</p> <p>アルファベット</p> <p>英語の音・フォニックス</p> <p>自己紹介・紹介</p> <p>疑問・応答・依頼・指示などの表現</p> <p>品詞(形容詞・be動詞・一般動詞)</p> <p>異文化・異言語</p> <p>時制(現在・過去・現在進行形)</p>	<p>フォニックスで覚える英語の音</p> <p>Likes and Dislikes 好きなもの、嫌いなものについて尋ね、発表</p> <p>辞書活用術(自学自習の一步)</p> <p>Eタイム(英語の歌など)</p>
中2	<p>II 期 【深める】</p> <p>文化・環境・人権・平和など様々な題材について英語で読み、それに関する自分の考えを表現できる。</p> <p>グローバル・サイエンス・キャリアの3つの観点から様々な手法での調査研究に取り組み、自ら学ぶ姿勢を身につける。</p>	<p>異文化・食文化・環境</p> <p>スピーチ・プレゼンテーション(基礎)</p> <p>時制(未来)</p> <p>準動詞(動名詞・不定詞)</p> <p>比較 受動態</p>	<p>将来の夢を英語で発表</p> <p>日本文化の説明・英語で情報を発信</p> <p>Eタイム(速読)</p>
中3	<p>多読・速読を通して、語彙や文法事項を深く定着させる。</p>	<p>平和・人権・伝統文化</p> <p>社会貢献</p> <p>英語を学ぶ意義</p> <p>インタビュー</p> <p>スピーチ・プレゼンテーション(発展)</p> <p>時制(現在完了)</p> <p>関係代名詞・SVOC</p>	<p>さまざまな問題について世界の状況を調査・発表</p> <p>Eメールや手紙で外国の人々と交流</p> <p>Eタイム(多読・語彙増強)</p>
高1	<p>III 期 【広げる】</p> <p>中学での学習事項を定着させ、発展的な学習へとつなげるため文法・語彙の強化を継続する。抽象性や論理性の高い物など、より幅広い英文に触れる。</p>	<p>コミュニケーション英語 I</p> <p>読む・聞く・話す・書くの4つの技能を総合的・統合的に育成する。</p> <p>より広範囲かつ内容的に深い多様な題材の英文を扱う。</p>	<p>英語表現 I</p> <p>基本的な文法を学習する一方、さまざまな題材を通して表現の仕方を学ぶ。</p> <p>その場の状況や目的に合わせ簡潔に表現する方法を学ぶ。</p>
高2	<p>IV 期 【高める】</p> <p>大学受験への対応や、将来の国際舞台での活動を視野に入れ、より広範な分野の英語の読解力、コミュニケーション能力を身につける。</p>	<p>コミュニケーション英語 II</p> <p>周囲や相手の状況に合わせた聞き取りや発話の仕方を学ぶ。</p> <p>自分が得た情報をもとに、討論などを通じて考えをまとめたり、文章にする。</p>	<p>英語表現 II</p> <p>パラグラフ構成を考えて、ある程度の長さの英文を書く。</p>
高3		<p>コミュニケーション英語 III</p> <p>大学入試や卒業後の社会生活において活用可能なレベルとなるよう情報を的確に理解し伝達する能力を高める。</p>	<p>英語表現探究</p> <p>様々な題材について英語で簡単な討論ができるように表現や文章の構成・論理を学ぶ。</p>

3 附属中学校【英語】の授業の特色

I 聞く・話す・読む・書くが充実する 65分授業

〔展開例〕

1 毎時間継続して行う活動

(例) ショウ&テル、音読、単語テスト、ジャーナル(英文日記、表現ノート)

2 様々な題材について英語で理解(聞く・読む)

・英語による授業、関連教材を用いた豊富なインプット

3 得られた情報をもとに自分の考えを表現・発信(話す・書く)

・調査研究、発表、討論 (スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・エッセイライティング等)

II 発信力を育てる「深める学習」

	育てたい力	主な学習内容例
中1 I期【始める】	英語の音声や文字に慣れ、英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢	○音声から入る英語「フォニックス*」 ○インタビュー：Likes and Dislikes など身近な話題について尋ね、発表する ○Eタイム：英語の音声やリズムに慣れる「英語の歌、チャンツ*」 +英語を読む楽しさを知る「多読」
中2・3 II期【深める】	様々な題材を通して英語で理解し、考え、表現する力	○コミュニケーション：Eメールや手紙で外国の人々と交流 ○プレゼンテーション：(基礎) 日本文化の説明、英語での情報発信 → (発展) 様々なテーマについて世界の状況を調査、発表 ○Eタイム：素早く確実に情報をとらえる「速読」 +より幅広い表現力をつける「語彙力増強」
高校段階 III期【広げる】 IV期【高める】	中学校での学習事項を質的・量的に発展させ、積極的に表現する力	○「多読」「多聴」をとおして、より抽象性・論理性の高いものを理解 ○得られた情報をもとに自分の意見をまとめ、ディスカッション ○文法・語彙の強化 論理的な文章構成

III 6年間の基礎を固める【始める】期の指導

学び方を学ぶために

- 「フォニックスで覚える英語の音」

小学校での外国語学習を踏まえ、音声と文字の関係に関する指導を充実させる。

- 「辞書活用術」

自発的・持続的な学習を推進するため、辞書の使い方に関する指導を充実させる。

英語好きにするために

- 「ALTや外国の人々との交流など」

英語でコミュニケーションをとることの楽しさや大切さを教える。

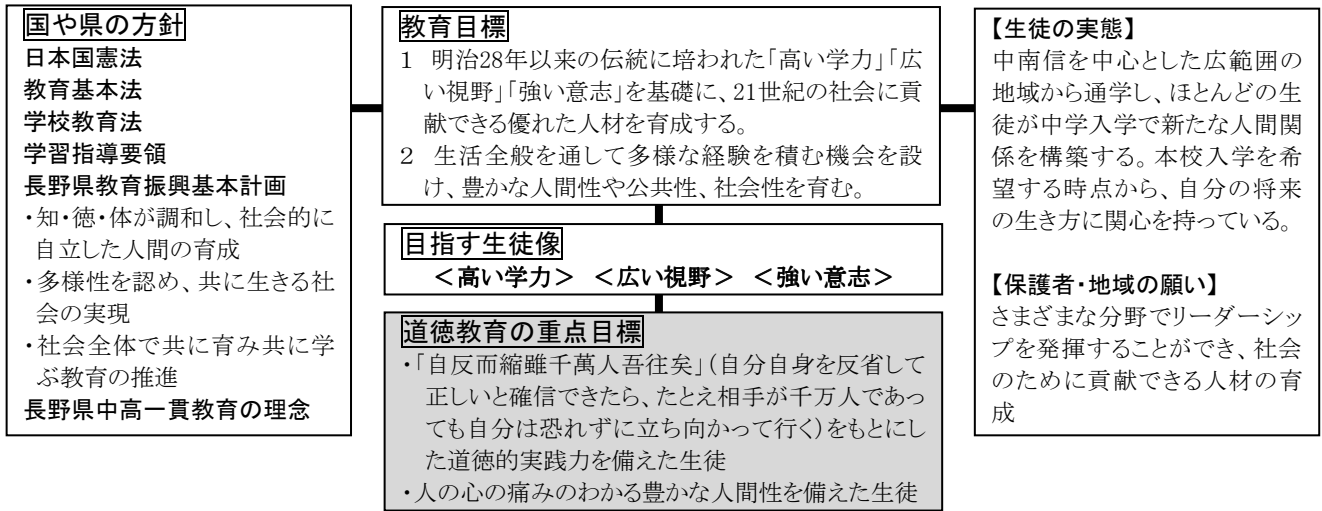
学習習慣を確立するために

- 年間を通した「音読テスト」「英単語テスト」「表現ノート」を実施する。

- 中学段階で英検準2級、高1段階で英検2級を取得できるよう支援する。

* チャンツ : 一定のリズムに乗せて英文を言うことで、発音やイントネーションを練習する方法
フォニックス : 音と文字の規則性を学ぶことで、英語が読める、英語が書けるという技能を身につける練習方法

道徳教育全体計画



各学年の道徳教育の重点目標			
【中学校】 道徳教育の要である道徳の時間を中心に、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。		【高等学校】 教育活動全体を通じて、人間としての在り方生き方を主体的に探求し豊かな自己形成ができるよう支援する。	
I 始める(中1) ・「時を守り、場を淨め、礼を正す」をもとに、節度ある生活が送れるようにする。 ・他に対して思いやりの心を持ち、互いに励まし合い、高め合う。 ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。	II 深める(中2・3) ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。 ・より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。 ・広い視野に立って、郷土や国家の発展、世界の平和、人類の幸福に努める。	III 広げる(高1) ・自分自身や自己と他者との関係、国家や社会について関心を持ち、人間や社会の在るべき姿について考えを深める。	IV 高める(高2・3) ・生きる主体としての自己を確立し、自らの人生観・世界観・価値観を形成し、主体性をもって生きたいという意欲を高める。

道徳の時間の指導の方針(中学校)

- ・全職員で取り組む。
- ・道徳の時間の基盤として、自分の感じ方や考え方を伸び伸びと表現できる雰囲気や日常の学級経営の中で創り出す。
- ・ボランティア活動や職場体験活動等の様々な体験活動を生かすなど、生徒の心に響く多様な指導の工夫に努める。

総合的な学習の時間における道徳教育の方針

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、グローバル(国際理解)・サイエンス(科学)・キャリア(生き方)を視点にした課題に取り組むことで、自己の生き方を考えることができるようにする。

特別活動における道徳教育の方針

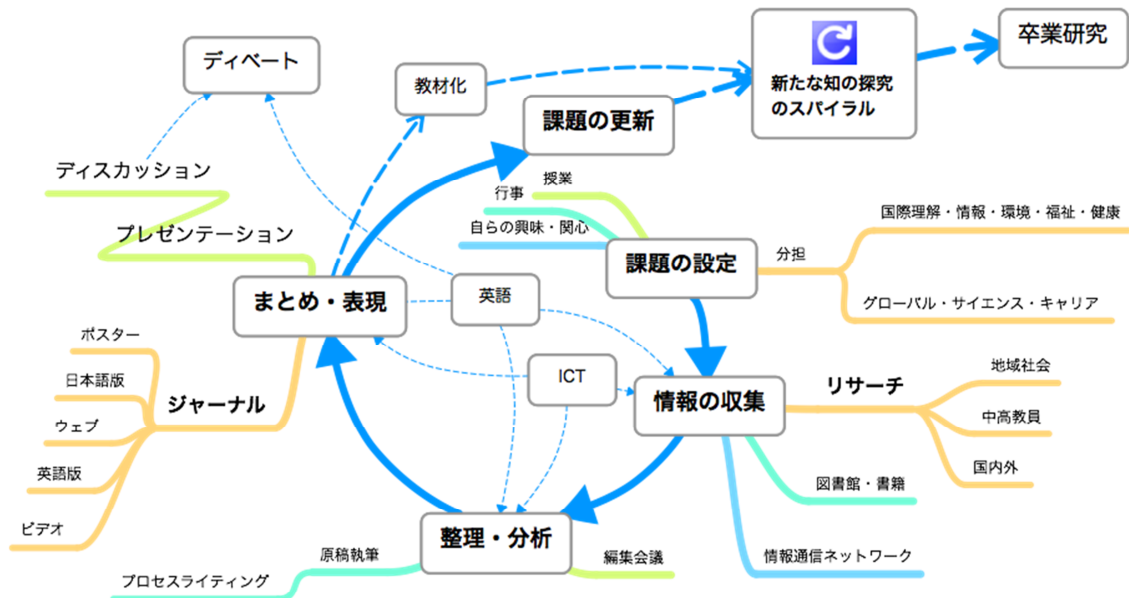
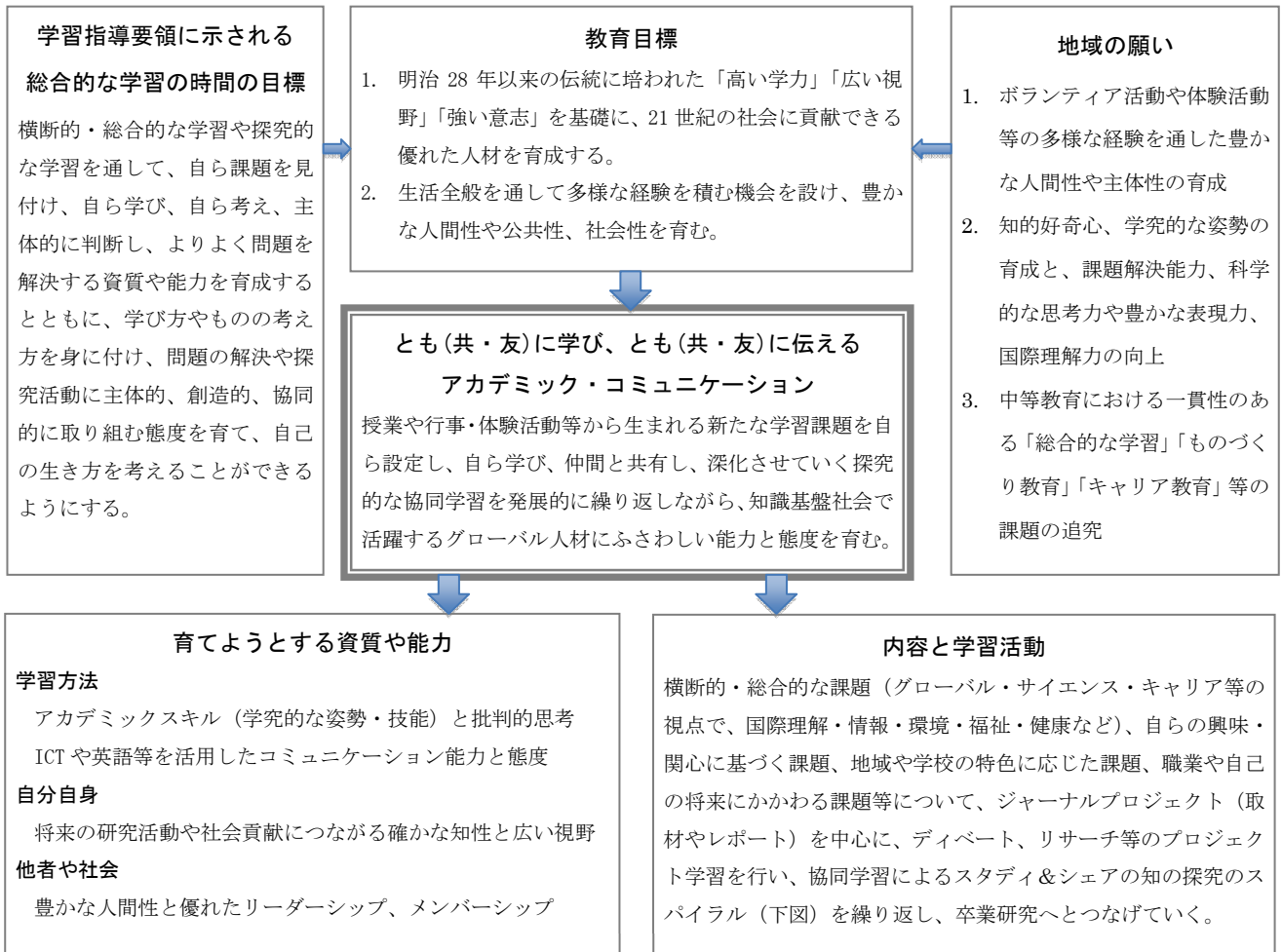
集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとするとともに、自己の生き方についての考えを深めようとする態度を育む。

各教科における道徳教育			
中学校		高等学校	
国語	互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。	国語	思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。
社会	国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	地歴	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深める。
数学	事象を数理的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を高める。	公民	人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
理科	生物相互の関係や自然界のつり合いについて考えさせ、自然と人間のかかわりを認識させる。	数学	数学を積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
音楽	音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を養う。	理科	地球の環境や生態系のバランスなどの事象を理解させ、自然と人間のかかわりを認識させる。
美術	創造する喜びを味わうようにし、豊かな情操を養う。	芸術	芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養う。
保体	集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力するといった態度を養う。	保体	ルールやマナーを大切に、チームの合意形成に貢献するなどの公正、協力、責任、参画などに対する態度を育成する。
技家	進んで生活を工夫し創造しようとする態度を育てる。	家庭	家族・家庭の意義を理解させるとともに、主体的に生活を創造する能力などを育てる。
外国語	我が国や外国の言語や文化に対する理解を深める。	外国語	国際的な視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育てる。
		情報	社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報社会に参画する態度を育成する。

家庭・地域との連携

- ・地域と共に学ぶ土曜地域開放講座の実施
- ・学校支援ボランティア招聘
- ・授業公開(含 道徳の時間)

総合的な学習の時間「アカデミック・コミュニケーション」全体計画



学習の評価

1. ジャーナル（新聞・雑誌等）やプレゼンテーションにおけるポートフォリオ評価及び生徒の相互評価の充実を図る。
2. ウェブサイト等を活用したまとめ・発表を通し、校外からの評価を積極的に活用していく。

指導体制

1. キャリア教育、道徳教育との連携
2. サタディ・スパイラル・セミナー等における地域との連携
3. 深める学習や言語活動を充実するために中高教員及び学級担任・教科担任の連携

キャリア教育全体計画

<p>県の方針 長野県キャリア教育ガイドライン 「社会的・職業的に自立した人間の育成」 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。 長野県中高一貫教育の理念</p>	<p>教育目標 1 明治28年以來の伝統に培われた「高い学力」「広い視野」「強い意志」を基礎に、21世紀の社会に貢献できる優れた人材を育成する。 2 生活全般を通して多様な経験を積む機会を設け、豊かな人間性や公共性、社会性を育む。</p>	<p>【生徒の実態】 本校入学を希望する時点から、自分の将来の生き方に関心を持っている。</p> <p>【保護者・地域の願い】 さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成</p>
<p>目指す生徒像 <高い学力> <広い視野> <強い意志></p>		
<p>キャリア教育の全体目標 将来を展望する構想力と自立心の育成</p>		

育成したい能力や態度(基礎的・汎用的能力)

①人間関係形成・社会形成能力	②自己理解・自己管理能力	③課題対応能力	④キャリアプランニング能力
マナー コミュニケーション能力	前向きに考える力 忍耐力	情報収集力 自己改善力 さらなるコミュニケーション能力	将来設計力 実行力 自立する力
<p>・多様な人々の考え方や立場を理解でき、意見を聞いて自分の考えを正しく伝えたり、協力して様々な取組ができる。 ①、②</p> <p>・様々な体験をとらえて社会規範・マナー等を学ぶ。 ①、②</p> <p>・学ぶこと・働くことの意義を理解し、社会人・職業人としての将来設計ができる。 ①、②、③、④</p> <p>・希望する進路の実現にむけ、課題を明らかにし、それを解決するための計画をたて、実行できる。 ②、③、④</p>			

6年間の指導計画概要

		各学年の重点目標	主な教育内容	関連行事	
中学		【社会理解と生き方の探索】 広く社会を見つめる中から、社会における役割や将来の生き方を考える。			
中1	始める	○自分のよさや個性がわかる。 ○将来に対する夢や憧れを抱く。	・オリエンテーション合宿 ・職業調べ ・憧れの先輩の職場訪問・体験 ・学習合宿	・社会人講演会 「リーダーに学ぶ」 リーダーシップセミナー	文化祭(清陵祭) 学習発表会
中2	深める	○将来への夢を達成する上での現実の問題に直面し、模索する。 また、困難を克服するための努力に向かう。	・医療現場、先端企業、研究施設等の見学 ・福祉・ボランティア体験 ・ものづくり体験 ・大学見学(難関大、医学部) ・学習合宿	・サイエンスフォーラム講演会(年3回) ・特別支援学校との交流 ・林業体験(学有林) ・PTA講演会 ・個別進路相談	文化祭(清陵祭) 学習発表会 イングリッシュキャンプ
中3			文化祭(清陵祭) 研修旅行 学習発表会 海外語学研修旅行(希望者)		
高校		【進路の考察・選択と自己実現】 自己の在り方生き方を考える中で、将来設計、進路希望の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組む。			
高1	広げる	○様々な情報の収集と活用により、進路選択の幅を広げる。	・学習オリエンテーション ・大学インターンシップ 職業調べ 職業体験 ・分野別進路講演会	・サイエンスフォーラム講演会(年3回)	文化祭(清陵祭) 課題探究発表会
高2	高める	○進路について具体的な目標と課題を定め実行に移す。	・大学インターンシップ 職業体験等 ・キャリア進路講演会 ・外部講師による進路講演会	・卒業生の合格体験談 ・教育実習生との懇談会 ・PTA講演会	文化祭(清陵祭) 研修旅行 課題探究発表会
高3			・大学インターンシップ 職業体験等 ・進路講話	・個別進路相談	文化祭(清陵祭)

指導上の位置付け

各教科、道徳、特別活動など関連を図りながら、主に総合的な学習の時間において展開する。

PTA・同窓会・地域との連携

・職場体験学習、社会人講演会、進路講話等における連携
・福祉・ボランティア等における体験活動や交流活動推進

諏訪清陵高等学校附属中学校（仮称）の開校に向けた準備状況について

1 中学生棟建設について

(1) 構造及び工期

- ・鉄筋コンクリート造3階建て
- ・平成24年12月～平成26年2月

(2) 校舎の特徴

縦と横のつながりがある空間

- ・校舎の中間にラウンジ、図書コーナーを設けクラス、学年を超えたつながりを可能とした。
- ・図書コーナー、相談質問コーナー、職員室につながりを持たせ、生徒と教員がいつでも会話のできる空間とした。
- ・普通教室、講義室の戸・壁を全開口式とし、廊下を含めたオープン教室としての利用や保護者・地域の方への公開・交流スペースとしての利用を可能とした。



エコスクール

- ・太陽光発電、空気集熱式パッシブソーラー（太陽熱利用）を採用し、省エネルギーとした。また、外断熱を採用し、窓は複層ガラスとした。
- ・階段吹き抜けに高窓を設け、自然光を取り入れるとともに、風通しを良くした。

2 中学部活動について

(1) 活動の原則

- ・「高い学力」「広い視野」「強い意志」を備えた生徒を育む活動であること。
- ・限られた練習時間の中で最大の効果・結果が得られるような活動であること。

(2) 運営の方針

- ・中学部活は「活動の原則」に則り、中学生の心と体を鍛えることを目的とする。適切な活動時間の中で、目標を一にする異年齢集団活動による人間的成長を図る。
- ・このため木曜日および週休日（原則日曜日）を休みとし、生活リズムの確立と疲労の回復を図る。（朝の部活動はなし、休日の部活動は半日、平日5時半完全下校等）

(3) 設置部活

- ・運動系（中学単独部活）6部活
男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、卓球（男女）、陸上（男女）
- ・文化系 5部活
中高合同部活・・・吹奏楽部、音楽部、書道部、美術部
中学単独部活・・・科学部

(4) その他

- ・中学3年9月以降、希望者は高校部活に仮入部することができる。
- ・中学単独部活は高校部活との合同活動を時間内に積極的に追求する。

3 制服について

- ・全体構想「県立中学校として品位や連帯感が持て、公的な儀式にも適するような制服」に基づき選定を進め、5月の学校説明会において公表予定である。

4 給食について

- ・全体構想「自宅からの弁当持参を基本とする。ただし、希望者に業者による弁当を斡旋する。」に基づき、業者を選定中である。

資料4

小学生と保護者の皆様

**平成 25 年度 諏訪清陵高等学校附属中学校(仮称)説明会等のご案内**

長野県諏訪清陵高等学校

附属中学校開校に向けた事業のご案内です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

期日	行事名・会場	主な内容	対象
5月18日(土)	授業公開 諏訪清陵高校	高校の通常授業を公開します 1時限 8:30～9:30 2時限 9:40～10:40 3時限 10:50～11:50 4時限 12:30～13:30	関心のある皆様
5月25日(土)	学校説明会 諏訪市文化センター	学校概要、教育内容等を説明します (第1回、第2回とも内容は同じです 地区割りは混雑を避けるための目安です ご都合のつく方にご参加ください)	小学生とその保護者 附属中学校に関心のある皆様 学校関係者等
		第1回 10:00～11:30	・岡谷市・下諏訪町・諏訪市・ 茅野市・原村・富士見町に お住まいの皆様
		第2回 14:00～15:30	・諏訪以外にお住まいの皆様
7月6日(土)	清陵祭(文化祭) 諏訪清陵高校	一般公開(土) 13:00～17:00	関心のある皆様
7月7日(日)		一般公開(日) 9:00～17:00	
7月20日(土)	開校前年記念講演会 諏訪市駅前市民会館 (スワプラザビル4階)	中高一貫教育についての講演会・対談 13:30～16:00	小学生とその保護者 附属中学校に関心のある皆様 学校関係者等
9月28日(土)	入学者選抜説明会① 諏訪市文化センター	入学者選抜要綱、出願方法等を説明し ます 10:00～11:30 (10/1(火)入試説明会②と同じ内容です)	受検を希望する6年生 およびその保護者
10月1日(火)	入学者選抜説明会② 諏訪市文化センター	入学者選抜要綱、出願方法等を説明し ます 19:00～20:30 (9/28(土)入試説明会①と同じ内容です)	受検を希望する6年生 およびその保護者
10月12日(土)	授業公開 諏訪清陵高校	高校の通常授業を公開します 1時限 8:50～9:50 2時限 10:00～11:00 3時限 11:10～12:10 4時限 12:50～13:50	関心のある皆様

入学者選抜日程

- ・志願受付期間 平成25年11月12日(火)～11月14日(木)
- ・適性検査等の実施期日 平成25年12月7日(土)
- ・合格者の発表期日 平成25年12月16日(月)

お知らせとお願い

- * 諏訪市文化センター(0266-58-4807)には、200台程度の駐車場があります。
- * 諏訪清陵高校、諏訪市駅前市民会館(0266-52-4920)には駐車場はありません。公共交通機関等のご利用をお願いします。
- * 諏訪清陵高校へご来校の際には、上履き・下足袋のご用意をお願いします。
- * 日程や内容は、都合により変更する場合がございます。
- * 詳しい情報は、本校ウェブサイトをご覧ください。

**長野県諏訪清陵高等学校
中高一貫教育準備室**

〒392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1

電話 0266-52-0201

FAX 0266-57-2426

URL <http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs/>Eメール seiryo-hs@pref.nagano.lg.jp